

# か み

## 議 会 だ よ り

### 6月定例会 第6号

平成18年7月27日発行  
発行 兵庫県香美町議会  
編集 議会広報特別委員会  
電話 0796-36-1111  
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>

#### — CONTENTS —

- 税条例改正 2～4
- 指定管理者 5
- 住民の声 届くか（一般質問） 11～17
- この人 ここにあり 18



なにか捕れるかな（香美町立香住小学校5年生自然学校：今子浦千畳敷にて）

# 6月

## 定例会

### 平成19年から

# 税の仕組みが変わります



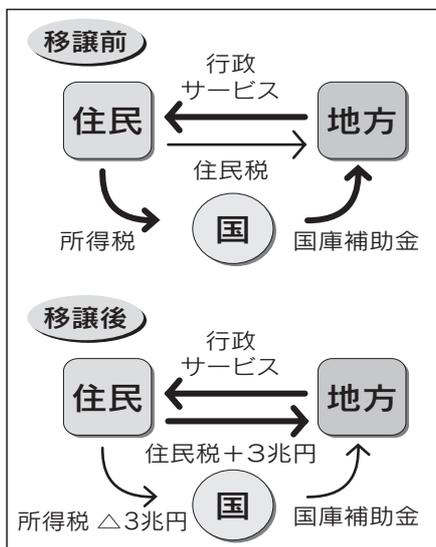
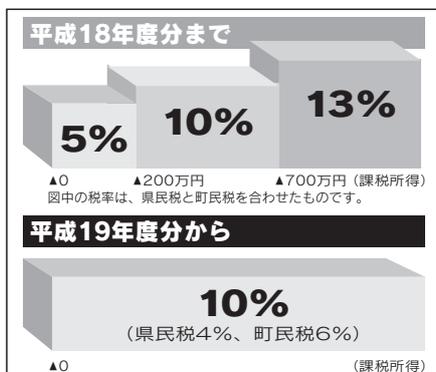
地方税法の改正に伴う町税条例の改正が提案されました。

この改正で国に納めていた所得税から全国ベースで3兆円を地方税（県民税・町民税）で納税頂くこととなります。

地方税の増加分は、国庫補助負担金が減額され、国、地方共、増減はありません。

また、所得で3区分されていた個人住民税率は6%に統一され、県民税と町民税の配分率も4対6になります。

様々な角度から質疑が行われ、討論を経て、原案を賛成多数で可決しました。



6月定例会は、6月13日に開会され、13人の一般質問をはじめ、町税など6条例の改正、下水道工事の契約、施設の管理指定、町道の認定及び廃止、補正予算4件が審議されました。

一般質問は、一向に改善しない少子高齢化の進行、景気回復が実感できない現状の中で、子育て・教育関係、地域・産業に関する質問が集中し活発に展開されました。

補正予算は、新しい事業によるものではありません。条例改正も法令改正に伴う整理です。

そうした中でも町税条例改正は、低所得者への配慮を中心に質疑・討論が展開されました。

下水道工事の契約は安全面で、指定管理は雇用確保について質疑が行われました。

6月27日、この他の案件を含めて全議案を可決して閉会しました。



いざ！真剣勝負

問 この度の法改正で町の財政状況改善、地方の自立性は高まると考えるか

答 所得税の一部が住民税に移譲された分は、基本的に国庫補助負担金で調整されるため増減はありません。メリットは、制約がなく自由に運用できる財源が確保できるため「まちづくり」にプラスになると考えています。



収穫を楽しみに

問 平成11年の定率減税を緊急避難的な特別措置と説明しているが、恒久的創設ではなかったか  
 答 恒久的創設であったと理解しています。  
 しかし、既に平成18年に半分を下げ、平成19年に残りを下げようとするものですが年金財源や介護保険料の減につながり、全体的にやむ得ぬと考えます。

問 この度の改正で町の税収見込み額はどのくらいになるのか  
 答 税源移譲分が1億9千400万円、定率減税の廃止分3千300万円が主な増収になります。町民税と県民税の税率の見直しで208万円、地震保険料控除分の45万円が主な減収となります。  
 ※資料で2億円強。

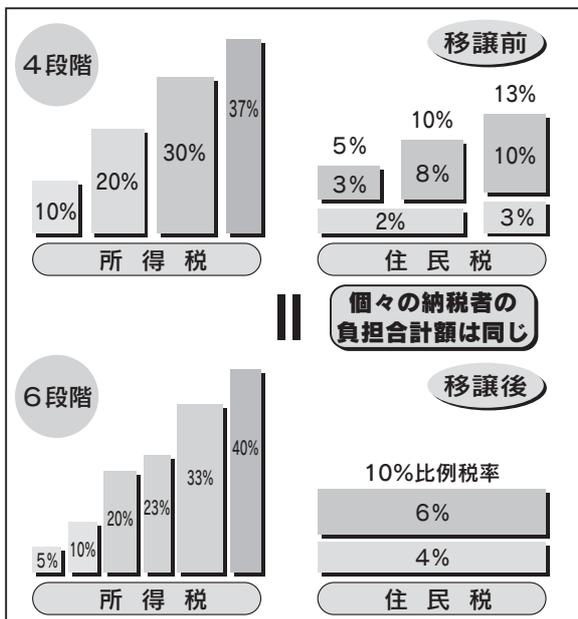
### 町税の増減収見込み額

(単位：百万円)

税目	改正事項	増減収見込み額
町民税	税源移譲	194
	分離課税等の税率割合等の見直し	△ 2
	定率減税の廃止	33
	地震保険料控除の見直し	△ 0.4
	調整控除	△ 25
	高齢者控除経過措置	1
計		200.6

## 県と町の配分も変わるのか

問 分離課税分の町民税と県民税の割合が、町民税を下げて県民税を上げる内容になっているが、また、このことによつて町民税の減収はいくらになるか  
 答 この度の地方税法の一部改正で町民税と県民税の割合が6対4に改められています。この率に合わせて調整した結果です。また、減収額は、208万円になります。



話題は燃料の高騰

# 負担増にならないか

問 個人住民税所得割の3区分が一律6%に統一されることになるが、現行の区分対象者の構成比はどの様になっているか

答 200万円以下の金額(3%)の対象者は77.4%、200万円を超える金額(8%)の対象者は21.5%、700万円を超える金額(10%)の対象者は1.1%です。

問 大多数の住民の税率が3%から6%に引き上げられて負担が暮らしに重くのしかかる。

特に高齢者の何らかの支援を考えているか

答 住民税(地方)の増加分は、所得税(国)の減額と調整控除により、原則的に増税になりません。

この度の改正に伴う高齢者支援は考えていませんが、必要があれば他の課題と合わせて総合的な施策の中で検討します。

問 個人住民税における調整控除とはどのようなことか

答 所得税と個人住民税の控除額の差により生じた負担額を調整して同等に近づける新たな控除制度です。

問 控除の申告方法及び電算システム処理は

答 電算で行うが、領収書等の書類は必要です。

問 現行の損害保険料控除の対象者及び地震保険加入者の見込み数と控除の総額はいくらになるか

答 損害保険料控除の対象者は2,700人です。その18、19%の500人を地震保険料控除の対象に見込んでいます。控除の総額は45万円です。

問 多くの住民が受けていた損害保険料控除を廃止して少数の地震保険料控除に切り替える内容になっていると理解してよいか

答 平成19年から損害保険料控除はなくなりませんが、平成18年末までに契約された長期の損害保険については、19年以降も控除の対象になります。

## 反対討論

低所得者に負担増になることは明らかであり、町民税と県民税の配分も町民税を下げて県民税を上げる内容になっている。

また1億7千万程度の自由度が高まるとする一方で普通交付税を減らしたいのが国のねらいだ。提案に対して反対する。

## 賛成討論

基本的に私たちが選んだ国会で議決された地方税法の一部改正に伴う条例改正でありやむをえない。

高齢者など低所得者の暮らしに負担が増すことは免れないが、自主財源の中で総合的課題として捉え救済されることを期待して提案に賛成する。

採決の結果賛成多数で可決しました



まちに待った夏を満喫

## 福祉医療費助成条例も可決しました

問 条例改正で何が変るのか

答 ①福祉医療費の対象額65万円は変わらないが、高齢控除廃止の関係で140万円の規定が無くなる。

②昨年改正すべきであった免除規定の枠を広げる。

③高齢者控除が無くなることに伴い福祉医療費の対象から外れる方たちの2年間の経過措置です。



花づくりのおさらい

## 町民税の税率表(現行と改正後)

課税所得金額	税率		対象構成比
	現行	改正	
200万円以下の金額	3%	6%	77.4%
200万円を超える金額	8%		21.5%
700万円を超える金額	10%		1.1%

# 指定管理者に株式会社グルメ杵屋<sup>きねや</sup>を指定

## 原案通り賛成多数で可決

### 指定期間

平成18年9月1日から  
平成21年3月31日

### 応募状況

現地説明会参加9団体  
申請受付 5団体

### 選考委員会

5名の委員で構成

### 選定基準

審査基準 10に基づき16項目に配点、150点満点による採点を行い5人の委員合計得点750点満点の上位3団体を一次審査通過

### 選定結果

一次審査の結果上位3団体に二次審査としてプレゼンテーション、質疑応答を行い、各委員の協議により総合的に判断した結果、団体の経営基盤の安定性、現在の職員に対する対応についての具体性、指定管理者としての公の施設を管理運営している実績の豊富さ、集客事業についての具体性において他よりも優れているものと認め候補者に選定

### 指定管理料(予定)

平成18年度180万円  
平成19年度300万円  
平成20年度300万円



ロッジかどま

## 質疑

問 指定管理者候補者の応募はどのように行われたものか  
答 公募によるものです。

問 指定管理者候補者への委員の採点は平均点数であったか  
答 5名の委員中4名の委員が1位の採点であります。

問 管理運営体制はどのように行われるのか  
答 在職職員の継続雇用は保障されているのか

答 3・5人体制で0・5人は本社でPR等の業務、支配人はグルメ杵屋社員が、副支配人、料理長は在職職員よりグルメ杵屋社員として再雇用となります。

2名については配置転換を考慮しております。



都市と農村交流センター

## 問 指定管理料の算出根拠

答 特別会計に対する門真市の負担金3千300万円をもとに交流センターの指定管理料についてはロッジかどまと一体の施設として管理運営していることから

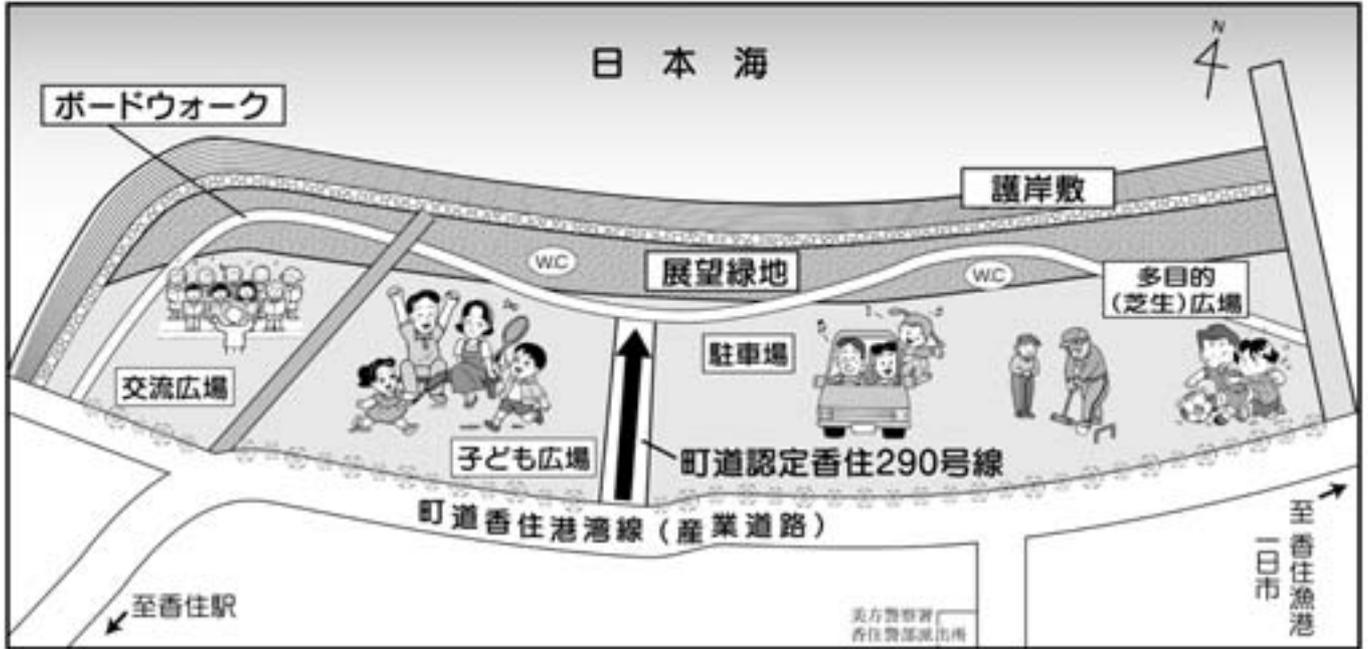
両施設の経費及び収入を別々に計算できないので門真市との協議により香美町の相応の負担として300万円を上限額として設定しております。平成18年度は月割計算による金額です。

## 反対討論

この指定による固定資産税、施設利用負担はなし、今日まで不要であった指定管理料が、300万円(平成18年度は7ヶ月で180万円)必要になる。

1万人顧客へのダイレクタメールと言われたが町が保持しているお客様の名簿を渡す、ということなら大問題になるので反対する。

# 町道認定



▲ ルネッサンス埋立地は整備後はこんな感じになります。

## ルネッサンス埋立地は

# 今後どのようなようになるのか！

### 提案理由

香住290号線については、香住海岸ルネッサンス埋立地の整備に伴い香住港湾線からルネッサンス埋立地の各施設への連絡道路として有効利用を図るため、町道として認定するものです。

### 質疑

問 認定後道路はどのようなになるのか

答 道路整備後は、道路の左右を白線で仕切ります。

### ●整備後の利用計画は

- ①埋立地の海側は、階段式護岸により海辺の散策等、海と親しめる場となります。
- ②多目的(芝生)広場には、一面に芝生を張り、サッカーやグラウンドゴルフといったスポーツが楽しめると共に、多目的に遊べる広場とします。
- ③子供広場には、幼児用の遊具(滑り台やクライミングなど)を置き、周りには

- 芝生を張ります。また、付き添いの方が休憩できる東屋を設置します。
- ④埋立地東側から七日市にかけてボードウォークが整備され、日本海を眺めながらの散策を楽しむことが出来ます。
- ⑤交流広場には、シンボル



着々と整備が進む(町道香住290号線)

テントの整備に合わせて観客席及び緑地を整備する予定です。

### ●今後の整備計画は

- ①子ども広場に、文化交流施設を整備する計画です。
- ②駐車場と多目的広場の間には、地域特産物の販売施設を整備する計画です。

# 雪害は防げなかつたか

## 補正予算を可決

一般会計補正予算、特別会計補正予算三議案が提案されました。一般会計では雪害による修繕料等が、特別会計では、佐津診療所、医療用機械器具費等が計上されましたが、ともに原案どおり可決しました。

### 一般会計

雪おろしは行ったのか

問 相岡バンガロー、吉滝コテージの管理は大雪であったが、どのように管理したのか

答 冬期間は閉じており除雪路線でなく大雪のなか現地に向くことは困難でした。

問 妊婦健康診査費補助金とはどのようなものか

答 県の新たな制度で目的は、妊婦がより健やかに過ごし安心して出産を迎えられるために健康診査を重点的に行う制度です。町が事業主体で全額補助、対象経費全額が県の補助金です。

問 知的障害者自立生活訓練事業は総事業費いくらで減員何名で200万円の減額か

答 かつら作業所の夜の生活訓練ホームで9名中6名減員となり県の補助対象が

むずかしく休止しています。総額300万円の内100万円の範囲内で実施するもので、結果、町負担のみ、100万円の事業となりました。

問 町民歌をどのような考案で制定するのか

答 町民歌、町民憲章は一つの町としての認識を持つために制定します。これを今年度中に作り上げたいと思います。町民歌は全国から歌詞を公募し補作して曲をつけます。委員会を早急に立ち上げ協議・審査をお願いします。

### 特別会計

住民にメリットがあるのか

問 佐津診療所を院外処方とした理由、それにより住民は便利になるのか、メリットがあるのか。人件費は減るのか

答 4月からの新しい医師の希望でした。人件費も一人分少なく済みます。薬品の在庫管理の必要もあり



院外処方で便利になったか

ません。住民は豊岡、香住病院等が院外処方のため、すんなりとはいれませんでした。不平不満は聞いていません。薬局は佐津駅前であり不都合はないと思います。

問 レントゲン・エコー等のリースは何年か

答 全て5年リースで本年度分は月割りで計上しています。

問 ルネッサンスの東屋は材料費を町が商工会へ支払い工事は商工会が行うとのことだが、その後の所有・管理はどこか

答 町が保有し管理します。問 今後、他にもこのような方法を取り入れる考えがあるのか

答 町民と一体となって進めていきたいと思っています。



豪雪のつめ跡

# 全町域、下水道整備完了に向け進む

香住処理区・一日市工区汚水管きよ布設工事1〜4工区（契約金額が5千万円以下のため2工区を除く）・幹線工区の計4つの工事請負契約は、すべて原案通り可決されました。

これにより境地区など一部を除き香住処理区、また、香美町全域で下水道工事は、ほぼ完了する運びとなります。



**幹線工区**

契約の方法  
落札に至らず随意契約  
請負業者  
株本建設株式会社  
香住営業所

請負金額  
7,980万円(税込)

**第4工区**

契約の方法  
9者による指名競争入札  
請負業者  
株式会社 中川工務店  
香美支店

請負金額  
1億80万円(税込)

**第1工区**

契約の方法  
12者による指名競争入札  
請負業者  
株式会社 伊藤組

請負金額  
1億258万5千円(税込)

**第3工区**

契約の方法  
10者による指名競争入札  
請負業者  
合資会社 中村組

請負金額  
1億500万円(税込)

## 質疑

### 軟弱地盤への対応は十分か

問 交通量が多い地域であるが、交通誘導員に対する配慮はなされているか

答 地元・警察の意向等を考慮して、通常より多めの人数を配置することになっています。

問 海砂で埋め立てた地域もあり、民家・工場などの家屋への影響が懸念されるが

答 地盤は安定していると考えていますが、過去の経緯から事前に試掘・ボーリング調査を実施しました。

また、工事中でも試掘や薬剤注入などを実施し慎重に進めたいと考えています。家屋などについては、事前調査・事後調査も実施します。

問 過去、放水路工事で大規模に家屋への影響が発生したことがある。どの範囲で家屋調査を実施するのか

答 全地域で調査するのが望ましいですが、危惧される箇所を実施します。

現時点では、危惧される箇所の把握はしていませんが、工事計画・方法との兼ね合いがありますので、今後、業者との打ち合わせで判断、把握していきます。但し、外壁など外観でのチェックは事前に全調査する考えております。

**安全かつ適正な工事の実施を**

問 2回の入札で落札できないために随意契約をしているが、工事が安全に施行されるか疑問だ。着工してから金額の増額をすることにならないか。

答 予定価格は、工事が安全かつ適正に実施されることを基本に決定しています。工事過程で適正に工事施行されているかチェックをしていきます。

金額の増額は、よほど予期せぬ事態が発生しない限りあり得ません。

**随意契約とは**

指名競争入札で2回目以降の入札でも落札者がない場合、最低の価格で入札した者から商議を行い、その際に提出された見積書の金額が予定価格の範囲内であれば契約とする。

# 臨時

# 議会

## 5月26日臨時議会が開催され それぞれ承認、同意しました

選任に同意



村岡区入江1807番地の1  
松岡 泰子氏

5月30日をもって教育委員一名の任期が満了することになり、その後任について提案がありました。

### 税条例の一部改正

質疑

問 控除額の均等割が8千円の引き下げ、所得割が3万円の引き上げになると町民の負担が増えると思うが、香美町にとっての影響額はどのようになるのか

答 均等割については金額ベースで2〜3万円、対象者は10人程度、所得割については10万円程度、対象者は20人程度になります。

討論

反対。新たな納税者を生み出す住民税の均等割、所得割の課税限度額の引き下げ、さらには固定資産税の評価のシステムを変えることで1,700万円程度の増税になる。住民に対して負担増を求めることには反対だ。

### 福祉医療費助成条例の一部改正

質疑

問 算定方法の改正で、具体的にどうなるのか

答 算定方法の中身は、診療報酬の体系の見直しです。

### 病院事業の設置等に関する条例の一部改正

診療報酬、薬価等の改定が合わせて3・16%の減額になります。

問 病院経営に及ぼす影響についてどのように見込まれているのか

答 診療報酬が1・36%下がるということは、端的に言いますと、いま、10億の売り上げが、1億3,600万円下がり、ますます経営が厳しくなる状況です。

### 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

質疑

問 万が一の場合の補償は歴史的にわずかつづ引き上げてきたが、引き下げの発想はどこからくるのか

答 この背景には昨年度の公務員の給与が下がったのが関連していると聞いています。人勸も考慮してこのような基準になりました。

専決議案は各議案ごとに採決が行われそれぞれ承認しました。



安全・安心の要（訓練風景）

臨時議会では、その他に、委任専決処分4件についての報告がありました。  
いずれも汚水管きよ布設工事の請負変更契約の締結です。

# 町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月13日から14日まで13名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



どうする!? 水がはれないプール



施設整備が待たれる浦上浜でのカヌー置場

重点課題事業で整備予定の温水プールは、小学校プ



吉田 範明 議員

## 今後、どうする小学校プール 十分、早く今後の方向性を検討する

プールとしての機能も兼ね備える考えで建設することになっていくが、温水プールが建設困難となれば長年の懸案事項である小学校プール建設が宙に浮くことになる。今後どう対応するか

町長

温水プールがほ

かものへと変わると新たに小学校のプール問題が浮上してきます。いづれ新たなプールを作るといふのをどういう方法で作ったらいのか、温水プールとの絡みの中で早急な方向は検討しなければと思っています。

今、いつどうこうというところまで至っていませんが、ずっと放置するということにはならないのではなか。その対応をどうしたらいいのか、教育委員会に検討していただきながら、財政上の問題もありますので、一緒になって十分、早く方向を出していきたいと思えます。



寺川 秀志 議員

## 柴山湾を海上レジャーのメッカに 積極的に取り組んでいく必要がある

「のじぎく兵庫国体」のデモンストレーションとして香住区はカヌーマラソンを行う。会場である柴山湾は、旧香住町の総合計画ではマリンスポーツの基地と

して整備を進めることになってきた。カヌーマラソンを機会に、地域と行政が心を一つに一体となつて、一歩前へ踏み出すにはいい機会だと思ふ。なお、具体的な整備としては  
①浦上浜②カヌー等の艇庫  
③海釣り公園等々

町長

観光を町の発展の中心に位置付けている中で、柴山湾の海を使ったス

ポーツも観光の面から積極的に取り組んでいく必要があります。カヌーマラソンを行うのは一つの契機です。で、検討をしていく必要があると考えています。その中で、カヌーやヨットが現在、暫定的に置かれている状況にありますのでどうしたら艇庫なんかの整備ができるのか調査、検討していくことが必要だと認識しています。



通学の安全確保は



原材料から精魂込めて

3 中学校統合問題がある。喫緊の課題として村岡区



西坂 秀美 議員

## どうする学校統合 我々より先に住民が判断を

学校統合は住民・保護者の声を聞いて進めよ。町として積極的に保護者の声を聞く姿勢が見えない。声を把握しているのか。学校統合をどのように考え何年頃を目途に考えているのか。生徒数の減りつつある中、統合問題と併せて通学費、

学校対策も議論していくのか。お金の負担だけでなく通学時間帯・安全面も考える必要があるが

**教育長** 学校統合は町長が判断されることであり、小規模化が直接学校統合に結びつくのでなく関係住民

の意見を尊重したいと言っております。

7月初めには各区小・中学校PTA会員の意見集約をお願いしております。

**町長** 検討委員会でも町民の皆さんの意見、町の考えも伝え、決めます。統合の判断は住民が先にしてほしい。通学方法等の問題も大きな課題、その中で議論します。



小林 利明 議員

## 「町特選」を制度化しては 認証制度の実現に努力する

①安全・正直・丁寧な地場産品、観光商品を募り「町特選」に登録して、先進地情報や販売促進システムを提供する。

② 現有の販促施設との連携

**町長** ①課題は多いが地場産品の信用度を高める

強化と共に社会教育団体や同級生会等の任意団体にも積極的に働きかけて情報の発信システムを整備する。

③各部横断の中堅職員でプロジェクトチームをつくり、情報収集から企画・実践まで一貫して対応する。

以上、地場産業活性性の私案を提言して、所見を問う

ための「町特選」認証制度の実現に努力します。

②同級生会など多くの団体やグループを調査して、皆さんに香美町を発信していただけるよう努めます。

③専門に担当する組織的業務運営と連携のプロジェクト方式をかみ合わせて効果的に政策を展開します。



どうなる！共聴アンテナ地域



「まがたま」づくりに挑戦（奥佐津小2年）

## 情報過疎対策と各区の町づくりは 光網を町内全域で、地域協議会で



長瀬 幸夫 議員

行政間のイントラネットは整備されたが、町民の皆

さんが接続して意義がある。どのように取り組まれるか。また、地上デジタル化が進む中で、ケーブルテレビを布設している市町は問題ないが、共聴アンテナで見ている地区の支援をどのように考えているか。旧町の取組みは分からないが

各区を核にした町づくりを、村岡の中心市街地街づくりや国土交通省の街づくり交付金計画は今後、どのように考えているか

町長 行政間のイントラネットを布設し、ネットワークは企業で進めていま

す。

接続地域を拡大し光網の恩典を町内全域で受けられることが大きな課題。企業の方へ積極的に働きかけをしたいと思います。デジタル化の問題は国や県に支援策を、特異なものは町で補完を考えています。

地域を核にした街づくりは地域協議会の皆さんと協議し進めたいと思います。

## 少子化対策の取り組みは 総合的な地域活性化対策を展開



岡田 公男 議員

全国的に少子化は急速に進み、香美町も進んでいる。このような現状にあつてどのように町行政に影響、状況になるか。町、地域の魅力があり若い夫婦が安心して

て子育て、暮らせるには義務教育の通学助成、香住総合病院の産婦人科、小児科の充実が不可欠である。町内の未婚者男女の出会いの機会を、少子化をとめるには結婚が先決ではないか。どのように取り組むのか具体策を伺う

町長 少子化問題は大変深刻、緊急な問題と捉えております。さらに減って

いく状況の中で町の活力に影響してくるようになります。政策全般の取り組みをして若い人たちが住める環境づくりを検討しています。男女の交流会に力を入れたいと思っています。香住総合病院の産婦人科の復活、医師の確保に努力を。新しいまちづくりを推進していく上で総合的な地域活性化対策が必要と考えています。



ここで測量(村岡区・兎和野高原)



後垣 晶一 議員

冬場に於ける但馬の天気は、山間部と海岸部、山一

つ隔てるだけでも大きく異なる。特に香美町は南北に35km、標高差もあることから積雪量もおのづと違う。村岡、小代区では豪雪、海岸部では僅かであっても、テレビ報道は香美町全域が大雪かのようにされる。それなら香住も大雪だろうと

## 積雪情報は山と海を分けるよう要請を誤解をまねかない提供を求める

思われ、カニ民宿では予約のキャンセルが相ついだ。海岸部の産業振興を考えるとき、積雪情報は海岸部、山間部に分けての報道をするよう、関係機関に強く要請すべきと考えるが

**町長** 積雪情報の対応

につきましては、この1月に、海洋気象台に対し、改めてもらうよう文書で要望しております。現段階ではよい結果は得られていませんが、この夏の間には気象台へ出向き、この冬には誤解が生じないように、そして香美町の産業に影響が起きないよう、行政として努力を精一杯やっています。



増頭に支援は(小原谷の肥育牛舎)



柴田幸一郎 議員

①小原谷で120頭肥育している業者から区長を通して町に増頭の相談をしたが、回答がないが  
②5〜600頭に拡大計画しているが承知しているか

**町長** ①産業振興上大きい問題です。職員対応の一つの材料として注意します。

③他県者が肥育しているが、但馬牛生産拡大対策事業として考えられないか  
④地元で5名程度の雇用が得られるが、企業誘致にかかる支援ができないか  
⑤600頭肥育となると環境問題となり行政指導が必要不可欠と考えるが  
⑥県の条例には適用しませんが、必要であり検討中です  
⑦地元住民と対話の中で環境対策をクリアし、畜産振興上進出を歓迎し、支援したいと思っております。

## 香住区小原谷の開発に行政支援を畜産振興の上で歓迎し支援したい



窓口での負担なしに



少子化の影響・複式学級（長井小学校）

## 乳幼児福祉医療費は窓口負担0で 来年4月実施に向けて取り組んでいる



川端 政明 議員

平成17年7月1日より香  
住でも乳幼児福祉医療制度

が実施された。  
「0歳児から満5歳児月末  
までは医療費負担なし」と  
され、対象者には大きな前  
進である。

しかし、今の「役場に請  
求手続きをして払い戻しを  
受ける」やり方では、払い  
戻しを受けていない人がい

ないのか。制度の主旨から  
考えても、ぜひ、現物給付  
（窓口での負担なし）にす  
るべきであると思うが

町長 100%払い戻  
されているとは言えない実  
態です。極力、払い戻しさ  
れるよう努力します。

県下各市町村でも現物給  
付化に進んでいます。香美  
町でも来年4月にその方式  
に変えたいと思っています。  
そのためには、国保連合  
会との調整、医師会等との  
連携、さらに、予算システ  
ムの変更とか若干予算措置  
も必要ですが、4月にはそ  
ういう方向に持っていきた  
いと考えて取り組んでいま  
す。

## 小中一貫教育を推し進める考えは 人的な面、制度面で難しい



上田 勝幸 議員

公立校では、土曜日が休  
校になり、授業時間の減少  
と少子化の影響で高校がど  
んな生徒でも入れるくらい  
広き門になったことで、私  
学との間に学力面で大きな

差異を生じている。その余  
波を受け、高校がピンチに  
あり、そのピンチを救うた  
めに知識欲の旺盛な、小中  
学生の子供達を9年間の年  
限を一本の線として、つま  
り小中一貫教育で、学力的  
にも、人間的にも社会に通  
用する人間に育てる、そん  
な教育が必要だと思いが

教育長 学校週5日制の  
課題から教育課程を見直す

という働きがあることは事  
実で、教育特区を設けて小  
中一貫教育を実施したり、  
研究校を指定して実施して  
いるところもあります。が、  
本町の場合、小学校は学級  
担任制であり、中学校は教  
科担任制であるという制度  
上の問題があったり、教師  
の方でも、小中の免許をも  
つものが少ないなどの問題  
があり、研究はできても実  
施とまではいきません。



給食にも使ってね (余部小学校)

振興のために町長の地産地消



浜上 勇人 議員

## 地産地消の取り組みは積極的に政策を展開していく

消への取り組みに強い意欲を感じるが、事業者へのアンケートを踏まえ、今後の考え方を問う。また観光業者だけでなく、流通関係や小売店、住民も一体となった取り組みが必要と思うが

町長

それぞれの旧町

は安定的な需要を把握する

ため調査をしたもので、途中の過程まで確定していません。地域の今までの流通経路、流通の方法を尊重しながら、進めていきたいと思えます。香美町にある素晴らしい資源を大いに生かして町づくりをしていく。その結果それぞれの皆さんの所得も向上していく。それが地産地消の本来のあり方と考えています。



増設がまたれる村岡有機センター



西村 伸一 議員

## 有機センターの増設を課題を早急に検討します

町に2つの施設を有し、村岡区の有機センターは許容量をオーバーしている。次年度は増設の計画、今年度は増設のために堆肥の販売を含めた有機センターの

あり方の検討との事、我が町の誇りである但馬牛の振興を図ることにおいてこの施設は畜産農家にとつてなくてはならない糞尿処理施設です。稼動から数年経過する中で町はこの不具合をどのようにとらまえているのか

町長 当初の施設計画頭数である573頭となり

増加して、今の施設そのも

のが非常に窮屈な状態になっている。それに200頭増やすと5年間の増頭計画を考えると、その多くは村岡になってくるであろうと考えますとまず、村岡の有機センターの整備計画を立て、それに対応出来る事を前提として増頭対策を進めて行く事は町の政策として必要である事から今、検討を始めたところです。



子供は元気（秋岡へき地保育所）

# 請願

## 次期定数改善計画の実施と義務教育費 国庫負担制度の堅持に関する請願

請願者 兵庫県教職員組合美方支部  
支部長 石井 一彦

### 請願事項

1. 義務制第8次教職員定数改善計画を実施すること、また、自然減を上回る教職員定数の削減を行うことなく、学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保すること。
2. 義務教育費国庫負担制度について国庫負担率の1/2に復元することを含め、制度を堅持すること。
3. 上記項目について、政府等関係機関に対し、意見書を提出する。

### 文教民生常任委員会に付託

本会議場にて文教民生常任委員長より審査報告  
◆委員会審査では、紹介議員から意見聴取をした。  
紹介議員にはあらかじめ参考資料の提出を求め  
ており、説明を受け質疑を行う。

採決の結果、全員賛成で採択

本会議採決 全員賛成で採択



山本 賢司 議員

子どもが生れない。若者が  
出て行く。と人口減少が

止まらない。今年、町の  
総合計画をつくることにな  
るが、人口目標をどこにお  
くのか？  
財政難を理由に、保育料  
の見直し、通学補助半減な  
どを示しているが、少子化  
対策と言われても、これでは、子育て支援を後退させ

町長 十年後、二万人  
台を目標としたい。若者が  
るものである。乳幼児福祉  
医療の対象年齢を引き上げ  
るなど、子育て支援を前面  
に出すべきである。二十年  
経たら頑張った結果が見え  
るはずである

住み、働き結婚する。病院、  
医療費、保育料など、子ど  
もを生み育てやすい総合対  
策とします。  
保育料も行革の中で検討  
しますが、大きな政策目標  
の中で、当然強弱はつけた  
い。子育て対策重点で。  
通学補助の負担上限つき  
の半減は、昨年、一応了解  
を得ており、お願いしたい。

子育て支援で まちづくりを  
行革検討で当然強弱はつける

# 一人一人にあり



代表の山村紀久子さんと会員の皆さん

## 目的と会員構成 (年齢、職業等)は

目的としては、子育て支援として取組んでいます。指人形劇を通して親子がふれあうきっかけになればと思っています。また会員構成は、香住区在住の40〜70歳代の更女会員の方々です。

## 会費、運営費等は

更正保護女性会の会費と個人の持寄りで運営しています。

## 発足と現在の会員数は

平成17年6月に発足しました。総会員は79名で、その内、指人形劇は13名で取組んでいます。

## 主な活動(日常の活動)と苦勞(悩み)は

公演活動と小道具作りをしています。会員が集まる時間が十分とれないので道具作りは家庭にもちかえつてすることが多いです。

◀みかた八重(あじさい)



活動する中で、楽しかったことや苦勞が報われたことは

子ども達が「おもしろかった」「よかった」「たのしかった」と言ってくれたことです。



子育て支援センター「遊ぶる」で活動中の「びよっこ」劇団

## 更生保護女性会とは

更生保護女性会は、地域社会から非行や犯罪をなくし、過ちに陥った人たちの立ち直りを支援する全国組織の女性ボランティア団体です。

私たちは、広く地域の人々に更生保護への理解と協力を得るため、関係機関・団体と連携して、時代を担う子どもたちの健やかな成長を願って、よりよい環境づくりに努めています。

## 地産地消は民間のけん引力で!!

(香住区)

合併後の一体感をいかに醸成するか、新町の課題であります。そうした中、産業を通じて、その試みをしている会社があります。香美町香住区香住の水産会社(株)日本海フーズ(社長・西川友行氏)では「ふるさと新鮮市」と銘打って香住港で水揚げされた新鮮魚介類をはじめ、香美町の生産者が持寄った野菜類をお客様に直接販売する土曜朝市を始めました。責任者の山田店長は「参加料はいただいていませんので、自慢の手づくり野菜、果物など何でも販売(出品)していただき、参加者(生産者)とお客様がふれあい、交流を深めてもらうことによって、3区の方々の一体感の醸成を図っていただければと思っています。」また「まだスタートしたばかりなので、今でも参加者を募集しています。お気軽に問合せ欲しいです。」と熱く語っておられました。



一体感醸成のため奔走する店長の山田直弘さん

## 編集後記

山の緑、海の青さが美しい、山と海に囲まれた自然豊かな香美町が2年目を迎えて本格的行政の執行がすすめられている。

旧3町の歩んできた歴史、文化の特性が活かされたまちづくりを望む。

厳しい財政状況が長年に亘り続くといわれている今日、融和と将来につながる行政を進めるためには町政懇談会での意見を素直に聞き、検討して町民の目線に立つて暮らしを守る。

地域周辺まで目くばりのきいた利便性に配慮した地域格差が生じない均衡のとれた活力あるまちづくりを実践していただきたい。

(〇)

## 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 寺川 秀志 |
| 副委員長 | 小林 利明 |
| 委員   | 吉田 範明 |
|      | 西坂 秀美 |
|      | 岡田 公男 |
|      | 前垣 憲一 |
|      | 浜上 勇人 |